

平成19年10月10日

新宿区長

法人名（特定）水俣フォーラム  
 所在地 新宿区高田馬場1-34-12-401  
 （フリガナ） クリハラ アキラ  
 代表者氏名 栗原 彬

## 事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

### 1 助成対象事業

事業名	初学者のための水俣病講演会（「はじめて出会う水俣病」）の実施
実施日時又は期間	事業期間：平成19年5月30日から8月10日 講演会開催日：平成19年7月20日、8月10日
対象者の範囲及び人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の範囲：環境問題、人権問題に関心を持つ区内学校の教員、学生、区民、区民以外の一般市民。特に一部の専門家向けではなく、この機会に初めて「水俣病事件」に出会う初学者。</li> <li>講演会参加者：193名（2回合計、講師・スタッフ含む）、ボランティアスタッフ23名（2回合計）</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>水俣病患者1人と専門家1人を講師とした講演会を2回行った。講演は、質疑応答、水俣病事件史のキーワード解説、患者による講演には写真を用いるなど初学者に配慮した企画内容とした。また、運営はボランティアとともにいった。</li> <li>広報では新宿区内の全小・中・高校へ告知するなど、区内在住者が参加しやすいよう告知の努力をおこなった。</li> </ul>
具体的な活動状況	6/15 チラシ完成。会員、会友へ案内発送 （区報等のイベント欄、当団体ホームページなども利用） 6/20 マスコミ、環境省記者クラブへ告知 6/24 講師打合せ（水俣） 6/25 当団体名簿登録の区内在住者、区内全小・中・高校他へ案内発送 7/20 講演会 小笹恵（患者、大阪府）、色川大吉（歴史学） 8/10 講演会 坂本しのぶ（患者、水俣市）、澤地久枝（作家）
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、公式確認から50年の節目をむかえた水俣病事件の被害者の声を直接、聞くことができる場を提供するという課題を達成できたことはなによりの成果である。</li> <li>区内および一般への十分な広報活動の結果、両回ともほぼ満席となり、「水俣」を通じて様々な問題を考える契機として区民および一般のニーズに応えることができた。また区内の施設・団体と協力関係を築くことができた。</li> </ul>

## 2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			244,725 円
	参加費・資料代等	入場料一般 1800 円×(66名+87名)=275,400 円 入場料学生 1200 円×(8名+4名)=14,400 円		289,800 円
	その他の収入			円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		500,000 円
	計			
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	98,068 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場使用料（付帯設備費込み、7/20分）28,035 円</li> <li>会場使用料（付帯設備費込み、8/10分）40,383 円</li> <li>当日資料作成費（当事務所にて印刷）20,000 円（内訳は別添参照のこと）</li> <li>講師との当日打合せ費 9,650 円</li> </ul>	
	宣伝費	59,157 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>チラシデザイン代 10,500 円</li> <li>チラシ印刷代 5,000 枚=48,657 円</li> </ul>	
	リース費	円		
	消耗品費	円		
	謝礼	142,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師謝礼@20,000×4人=80,000 円</li> <li>ボランティア謝礼（交通費分）@1,000×62人日</li> </ul>	
	人件費	192,000 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤/非常勤スタッフ@4000 円×4人×12日間</li> </ul>	
	材料費	円		
	交通費	218,800 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師往復旅費（小笹）29,500 円</li> <li>講師往復旅費（色川）11,100 円</li> <li>講師・付添往復旅費（坂本）131,600 円</li> <li>打合せ旅費（東京-水俣）46,600 円</li> </ul>	
	その他諸経費	324,500 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便代@80×3,700=296,000 円</li> <li>電話、資料複写代等@9,500×3ヵ月=28,500 円</li> </ul>	
助成対象事業費（小計）		1,034,525 円		
余剰金		円		
助成対象外事業費		円		
事業総額		1,034,525 円		

### 3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両回ともほぼ満席となり全体で 193 名の来場者を得たことで水俣病について学びたいというニーズに応えられた。</li> <li>・ ボランティアと共に事業運営することは達成できたが、新宿区民の十分な参加を得ることはできなかった。スタッフとしての参加を呼びかけるための工夫が今後の課題となった。</li> <li>・ 特に初学者に配慮したプログラムは達成できたが、学生の来場者は予想に比して伸び悩み、周知方法などについて課題を残した。</li> </ul>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場者のうち新宿区在住者は全体で 9 名と少なかったが、在学・在勤などを含めると 26 名となり、区民・区関係者にとって「水俣病」に接する機会を一定程度提供できた。</li> <li>・ 会場設営資材・備品類運搬に区民ボランティアの協力を得られるなど、社会貢献活動に参加したいという区民との協働の足がかりを得られた。</li> <li>・ 区内の学校へ告知を行ったことで、当団体の活動が一定程度周知でき、当団体が学習者や教育関係者のための学びの拠点であることを知っていただく契機となったと推察される。</li> </ul>
新たに気づいた課題は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二回の講演会はそれぞれ夏期休暇直前と休暇中にあたり「学生に参加を呼びかけにくかった」との声が寄せられた。今後は開催日について、学校の年間スケジュールをできる限り考慮することが課題である。</li> </ul>
理解者や支援者が広がったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師が宿泊の戸山サンライズや講演会会場のルーテル市ヶ谷センターには、当事業へのご理解をいただき協力をいただいた。NPOが行う事業遂行に欠かせないこうした優れた区内の施設・団体とさらに連携を深めていきたい。</li> </ul>
事務局の執行体制は十分だったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金を得られたことで、広報に関する十分な体制を準備できたことで入場料収入が当初予測より増加し、団体負担が軽減された。</li> <li>・ 助成金を得られたことで水俣病患者を講師として招聘する際の十分な事前準備を行うことができ、体調面でのケアや事故などの不測の事態を予防する体制を十分に整えられた。</li> </ul>

評価のポイント	自己評価
<p>今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣病事件の被害者の声を直接聞くことにより、「水俣」を鏡として身近な環境問題や人権問題を考える契機となる、こうした企画の継続的な開催。特に初学者が来場しやすい時期(4~6月)の開催を目指したい。</li> <li>・当事務所の「水俣病ライブラリー(書籍・資料・映像・音声等)」は現在は主には会員利用に限定しているが、学習者や教育関係者への資料の貸し出し・提供、授業相談、学習相談などの機能強化を目的として、区民および区内教育関係者などにより広く利用してもらえるよう整備をすすめたい。</li> </ul>
<p>その他</p>	

#### 4 活動の成果

\* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。  
 \* 参加者の意見なども報告してください。

#### 別添の資料を参照

- ・領収書
- ・チラシ
- ・当日配布物
- ・アンケート集計
- ・アンケート
- ・写真(講演会会場の様子)
- ・紹介・報道記事